

TAKE FREE

おみたマガジン

第192号

May.2026

小美玉市の文化・芸術 総合情報誌

おみた magazine

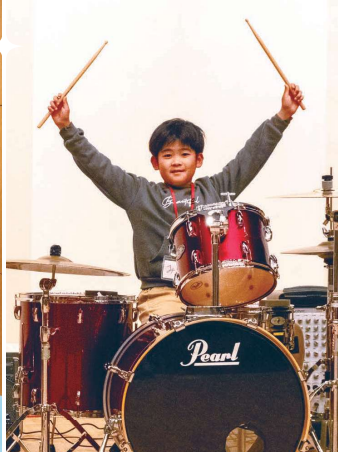
OMITA MAGAZINE

小美玉市の文化・芸術総合情報誌 おみた magazine 第192号

〒3190132 茨城県小美玉市部室1069 TEL: 0299448446
【企画取材】みのんば編集局 四季文化館の「れい」内
【編集発行】小美玉市文化芸術課 令和8年5月28日発行

小美玉文化情報
日々発信中

アビオス
みのり
コスモス
f
x
@
x



■ 編集後記
市役所生活10年目の春、土木分野から「みの〜れ」へ。文化の現場が放つ華やかな活気に、毎日新鮮な刺激を受けています。5月の爽やかな風のように、地域の方々との対話を大切に奮闘中です。「みの〜れの新人」として頑張りますので、気軽にお声がけください！(君山 真隆)

■ みのんば編集局
編集長 藤田 佐知子
記者 遠藤 雅暉、加藤 篤子、瀧澤 比佐乃、福島 ヤヨヒ
保田 孝雄
カメラマン 赤上 恵、大山 進、齋藤 翔、齋藤 友幸、関 香代
橋本 笑優
■ アートディレクター/デザイナー 清水 すず菜 (つばめ座)



アートと交わる
わたしがひかる

撮影：赤上 恵
モデル：宇戸 日彩さん
宇戸 悠桜さん
宇戸 碧桜さん

特集

こどもたちの感性を磨く、「〇〇」

取材：みのんば編集部 撮影：赤上 恵、大山 進、関 香代

「正解を教える」ことに必死にならなくても大丈夫。ありのままの子どもの様子を受け入れる園の先生とアーティストの対談を通し、子どもの落書きや突拍子もない行動を「アート」として捉える温かな視点を提案。園選びや子育ての安心を届けます。

子どもの“謎の行動”は、才能の芽吹きかもしれない。

子どもの感性に「脱帽」した瞬間

先生たち 本当に驚かされる毎日です。ある時、子どもたちが手押し車の車輪で園庭いっぱい迷路を描き始めました。すると次に横線をサッと描き足して、線路へ進化させたんです。自分たちで「遊びの大空間」を創り出す創造力には脱帽しました。色水作りや砂遊びの中でも、「やさしい砂だね」「きれいな黒ができた!」といった感性豊かな言葉が自然とこぼれ落ちています。

りりい 私のコンサートでも、音に合わせて自由に体を揺らし、全身でリズムを刻む子がたくさんいます。大人の常識に縛られないピュアな反応に触れると、私自身もたくさんの刺激をもらえるんですよ。

感性は、教えるもの? 育つもの?

りりい 私は、感性って「多様な大人や価値観に出会うこと」で耕されていくものだと思うんです。

先生たち 同感です。友達との関わりも欠かせません。大人の前では控えめな子が、友達の中では自分をダイナミックに表現できることもあります。そこに風の匂いや虫の感触といった「五感体験」が加われば、感性はさらに豊かに育ちます。

りりい 認め合い、自然と触れ合う。そんな「心のしなやかさ」を育む環境こそが、感性の土壌になるんですね。

個性に寄り添う大人のゆとり

先生たち まずは個性に寄り添うこと。表現が苦手な子にも、その子にしかできない「役割」を作って光が当たるように努めています。家庭でも「正解」を教えるのではなく、まずは親子で会話を楽しむことから始めてほしいですね。

りりい 私の音楽を「好き」な子も「嫌い」な子もいていい。みんな同じである必要はありません。私のステージは「ぐずってもOK!」むしろ「もっと大きな声を出して!」と誘います。大人が「違い」を面白がれる場でありたいです。

「本物」が、自信のスイッチを入れる

先生たち アーティストさんとの出会いは貴重です。アウトリーチで園に演奏家が来ると、子どもたちは興味津々。尺八体験で音が出せた瞬間のバツと明るくなる表情は、大きな自信に繋がっています。

りりい 大人は「価値の有無」を先行させがちですが、子どもたちは今を全力で楽しんでいます。実は、私たち大人こそが、子どもたちの素晴らしい感性から宝物をもらっているんですね。

納陽保育園 教諭
2歳児クラス担当
鈴木 園加

保育士11年目。持ち前の明るさで現場を包み込む、頼れる優しい先生。



さくら第2保育園 保育士
2歳児クラス担任
中村 陽菜

保育士5年目。太陽のような明るさで、子どもに大人気の元気印。



シンガー・ソングライター
うたうたいりりい

茨城県石岡市在住のシンガーソングライター。温かな楽曲で全世代から支持される。弾き語りや絵本ライブを全国で展開し、サマソニ出演やCM歌唱など幅広く活動中。



よつば幼稚園 教諭
年長児クラス担任
小田部 麻乃

教諭歴7年。細やかな配慮と誠実な対応で、保護者の信頼も厚い頼れる存在。



玉里第二保育園 保育士
保育リーダー
岡野 友加里

保育士15年。弾ける笑顔と深い愛情で、親子共に慕われる園の住。

Column

「正解」を教えるより、一緒に「不思議」を面白がろう

感性は、教えるものではなく「育つもの」です。社会との関わりの中で、子どもが本来持っているものが引き出されていくプロセスとも言えます。まず大切なのは、子どもが安心して自分を表現できる環境を整えること。大人はそれを「評価」するのではなく、どう「受け止めたか」という受容の姿勢こそが重要です。さらに、その表現を丁寧に受け止めた上で、次の一步を踏み出すきっかけを作る「次の一手」も欠かせません。子どもたちは遊びの中で試行錯誤を通じて学びますが、それは単に「答え」を出すための練習ではありません。何でもすぐに正解がわかる時代ですが、大人がすぐに答えを教えてしまえば、自ら経験するチャンスを奪うことにも繋がります。角度を変えながらゆっくりと考え、工夫を重ねる時間こそが、豊かな内面を育むのです。また、幼児期の本物の芸術家との出会いは、既存の枠にとらわれない多様な価値観に触れる貴重な機会となります。これは同時に大人にとっても、子どもの見方を多様化させてくれる大きな刺激となるでしょう。感性を育てる「魔法の言葉」はありません。近道を教えず、子どもと一緒に面白がりながら、どんな言葉をかけ、どう表現していくか。その工夫のプロセスそのものを、ぜひ親子で楽しんでみてください。



敬愛短期大学特任教授
神永 直美

東京学芸大学大学院修了。茨城大学教授や別所幼稚園長を歴任した幼児教育学の専門家。現場経験に基づいた保育者養成や、多世代交流による子育て支援の研究に注力する。自治体のアドバイザー等、教育行政にも深く貢献。





大貫 春恵

住民プロデューサー集団
team:ここから

小美玉市小川在住。2016年よりチームへ参画。創設メンバーとともに長年にわたり組織の基盤構築を支え、その発展に尽力。文化協会役員としても、街の文化活動を多方面から支えている。



宮下 一恵

住民プロデューサー集団
光と風のステージCue

小美玉市羽鳥在住。サービス業に従事。娘のワークショップ参加を機にチームへ加入。観客の笑顔を糧に、細やかな気配りで「みの〜れ」ならではのステージ運営を支えている。



菊地 方美

C.C.C.
コスモスキャンバスコンサート

小美玉市下玉里在住。コスモスプロジェクト立ち上げ時から参画。移住後の支えとなった同活動を通じ、コーラスや国際交流など多角的な視点で地域振興に尽力している。

お昼のちょこっと、夜のおしゃれ。 あなたはどの『音』と一緒に過ごしますか？

なぜ、その場所・その時間なのか

菊地 CCCの始まりは、コスモスのロビーをもっと活用したいという想いでした。土曜の昼間、予約なしで「ちょこっと」立ち寄れる場所にする事で、お客さんにもアーティストの方にも、音楽の敷居をぐっと下げてもらいたかったんです。

大貫 私たちは、子どもからシニアまで多世代に足を運んでほしくて、昼と夜の二部構成という形にたどり着きました。4人のコアメンバーで企画・プロデュースを行い、当日はサポートスタッフ「ばるず」の協力も得て、手作りの舞台を創り上げています。

宮下 Cueは「土曜の夜におしゃれな空間を」というコンセプトが核にあります。夜という時間は運営側のハードルも高いのですが、あえてそこにこだわることで、日常を忘れられる大人のライブ空間を楽しんでいただいています。

名前に込めた「きっかけ」の種

菊地 CCCは「キャンパス・コスモス・コンサート」の略です。開放的なロビーを一つのキャンパス(学び舎・キャンパス)に見立て、自由な表現が生まれる場所になればと名付けられました。

大貫 私たちの「ここから」には、かつて住民プロデューサー養成講座を終えたメンバーが「もう一度ここから何かを始めよう」と立ち上がった再出発の意味があります。それと同時に、子どもたちを文化センターに引き込む「入り口」にしたいという願いも込めています。

宮下 Cue(キュー)は舞台用語で「きっかけ」を意味します。水戸や土浦のような街に行かなくても、自分たちの住む小美玉にライブハウスのような熱気を作りたい。音楽を通じて

「みの〜れ」を訪れるきっかけを創出したい、という感覚が原動力ですね。

アーティストと観客の間に流れるもの

菊地 一番は、帰り際に「ありがとう」と声をかけられたり、握手を求められたりする瞬間ですね。あの温かさに触れると、やっけて良かったと心から思います。

大貫 私は、アーティストから観客へ、そして観客からアーティストへと、双方向に気持ちが伝わったと感じる瞬間が本当に幸せです。あの会場の一体感は何物にも代えられません。

宮下 コンサートが終わって、ロビーに出てられるお客様の表情が皆さん笑顔なんですよ。その顔を見るだけで、準備の苦労もすべて吹き飛びます。

誰もが「主役」になれる場を目指して

菊地 ロビー開催なので、隣の図書館にきた親子連れに声をかけたりもします。「立ち見も、途中の出入りも自由ですよ」と伝えることで、偶然の出会いを大切にしています。

大貫 「来やすさ」を最優先にしています。出入り自由な雰囲気を出すことで、ふらりと音楽に触れられる工夫をしています。

宮下 Cueでは、例えば7月のオペラ『魔笛』の公演前にあらすじを解説するなど、より深く楽しんでもらうための仕掛けを考えています。おしゃれな空間でありつつ、親しみやすさも忘れたいですね。

世代を超えて、音楽を「生活の一部」に

宮下 課題はメンバーの若返りです。若い世代を巻き込み、「ライブと言えは小美玉」と言われるような街にしたい。最近では、これまでの置きチラシだけでなく、生活圏の様々なお店にポスターを貼ってもらうなど、

ロコミの力を再認識しています。

大貫 音楽と若者、そして親子。その繋がりや絶やさないことが、街の活力になるはず。音楽は認知症予防にも良いと言われてますし、あらゆる世代の心に届けたいですね。

菊地 聴くだけでなく、裾野を広げてみんなを巻き込みたいです。それが街全体の豊かさに繋がっていくはずですから。

三人 音楽は、心を豊かにするために欠かせないもの。若い世代の感性と私たちの想いを掛け合わせて、これからも多種多様な音色をこの街に響かせていきたいですね。



CULTURE REPORT

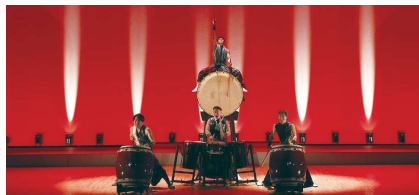
2026年3月8日 / みの〜れ
みゆ〜じっく☆すた〜と 卒園・卒業おめでとうコンサート

中学生プロデューサーの一人として企画・運営に挑戦し、卒園・卒業祝いのコンサートを無事開催できました。最初は不安もありましたが、プロ奏者4名が紡ぐ音色と会場を埋めるたくさんの笑顔、温かい拍手に「企画して本当に良かった」と心から感動しました。支えてくれた方々、そして来てくださった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。(宇津野 翼)



2026年3月21日 / みの〜れ
みのり太鼓第20回企画 TAIKO GROOOOOOVE!!!

和太鼓フェスタ2026「TAIKO GROOOOOOVE!!!」が森のホールで開催され、県内外から6組が出演しました。空気を震わせる迫力の響きと、一糸乱れぬ演舞の美しさ。大正琴との競演や巨大な太鼓に乗る独創的な演目など、個性溢れるパフォーマンスが観客を圧倒しました。魂を揺さぶる音色と演者の輝く笑顔は、最後まで会場を熱狂させ、心に深い感動を刻みました。(本村 紀彦)



2026年5月1日〜5月6日 / みの〜れ
大山弘明展 ー幻想画の世界への道ー

小美玉市竹原在住の画家・大山弘明氏の絵画展が「芸術で豊かな心を育む会」の主催で開催されました。多くの来場者が、繊細なテンペラ画が描く独特な「青の世界」に魅了されていました。ギャラリートークも行われ、最終日には、熱心に見入る小学生の親子連れの姿も。小規模な空間ながら深い世界観を感じさせ、次回の開催を期待させる充実の展覧会となりました。(福島 ヤヨヒ)



2026年3月15日 / アビオス
第3回アビオスカラオケバトル

小学2年生から70代まで、歌自慢の26名がアビオスに集結した「カラオケバトル」。出場者の一生懸命な姿に、客席からは「音楽って素晴らしい!」と感動の声。ゲストAIRIさんの圧巻の歌声や、新設された「応援団賞」もあり、会場は熱い声援と一体感に。音楽の力を再確認した一日は、バトルの枠を超え、会場全体を心温まる幸福感で包み込んでくれました。(武石 千絵子)



2026年4月4日 / 四季の里
小美玉さくらフェスティバル2026

あいにくの雨を吹き飛ばすように、「アートなおしごとたいけん」がみの〜れで開催されました。ハワイエでは吹奏楽の演奏や和太鼓、ジャグリングなどの体験が目白押しで、会場は終始笑顔。フラワーアレンジメントに挑戦した福田和心さん(小2)は「おばあちゃんへの誕生日プレゼントに作りました。来年もまた来たい!」とニコリ。次々と体験を楽しむ人々の活気で、館内は温かな熱気に包まれました。(加藤 雅彦)



2026年5月2日 / みの〜れ
みの〜れWORKSHOPDAY

尺八では息遣いや構え方の丁寧な指導を受け、初心者も安心して音出しに挑戦。少人数制のドラマ教室では、親子やきょうだいが夢中でリズムを刻みました。組子細工で伝統の技に触れ、親子体操では音楽に合わせて笑顔で体を動かすなど、各会場は温かな活気に。講師の支えのもと、文化を通じて人と人がつながる充実のひととき。地域に新たな彩りが生まれた、笑顔あふれる一日となりました。(保田 孝雄)



INFORMATION

ジャズも! クラシックも! 山下亮江×小林由佳コンサート

■日時 6月27日(土) 15:00
■会場 コスモス 大ホール
■金額 1,000円
■出演 山下 亮江
小林 由佳

ジャズとクラシックが織りなす多彩なプログラム。美しい音色に身をゆだね、心癒やされるひとときを過ごしませんか?

■発売中 / 0299-26-9111 (コスモス)

アビオス小劇場vol.52 けん玉パフォーマンスショー

■日時 7月12日(日) 14:00
■会場 アビオス
ibatoyoゴールドホール(次ホール)
■金額 一般:1,000円
高校生以下:無料
■出演 YASU、NOWA、Kaito Missu

世界で活躍する若手けん玉プレイヤーが集結。昔遊びのイメージを覆すクールでカッコいい「KENDAMA」に衝撃を受けるはず。

■受付中 / 0299-58-0921 (アビオス)

四季の里演劇祭2

■日時 7/18(土)、19(日) 10:30
■会場 みの〜れ及び四季の里
■金額 2DAYフリーパス 一般4,000円他9種類
小学生以下無料
■全席自由
■年齢不問

全国から舞台芸術が小美玉市へ集結。四季の里全体で38劇団が「短編演劇」を同時公演。フェス気分が気ままに楽しめます。

■発売中 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

team:ここから ちょこっと♡お昼にコンサートVol.05

■日時 8月2日(日) 13:00
■会場 アビオス
ibatoyoパルホール(小ホール)
■金額 1,000円(全席自由)
■出演 いばらき3人娘 étoile

team:ここからプロデューサー企画。ちょこっと行ってみようかな!とおもってにらえるような気軽に鑑賞できるコンサートです。

■受付中 / 0299-58-0921 (アビオス)

2026年 6月〜8月のイベント pick up ※このスケジュールは2026年5月8日に作成したものです。

開催日	イベント	開演	場所	主催・お問い合わせ先	料金
6月12日(金)〜6月14日(日)	小美玉市文化協会祭	9:00〜17:00 最終日は15:30まで	アビオス	文化協会事務局(大山) 090-9017-4859	無料
6月19日(金)〜6月21日(日)			コスモス		
6月26日(金)〜6月28日(日)			みの〜れ		
7月5日(日)	美野里中学校吹奏楽部 定期演奏会	13:30	みの〜れ 森のホール	みの〜れ 0299-48-4466	無料
7月25日(土)	光と風のステージCue vol.84 ファミリーオペラ「魔笛」	18:30	みの〜れ 風のホール	みの〜れ 0299-48-4466	1,500円
7月26日(日)	OMITAMAまる市(マルシェ)	11:00	みの〜れ	みの〜れ 0299-48-4466	無料 (一部有料)
7月26日(日)	美野里中学校演劇部支援 夏公演「Alice〜世界がアリスの夢だったら〜」	13:30	みの〜れ 森のホール	みの〜れ 0299-48-4466	無料
8月2日(日)	夏休みこども劇場探検ツアー	①10:00/②11:00 ③13:00/④14:00 ⑤15:00	みの〜れ	みの〜れ 0299-48-4466	無料
8月5日(水)〜8月8日(土)	小学生のための金管楽器初心者講座	19:00	みの〜れ	みの〜れ 0299-48-4466	3,000円 (全4回)